

英検合格
おめでとうございます



2級合格： 石井美佐さん(主婦)、柳川幸音さん(中2)
準2級合格： 羽鳥月菜さん(高3)
3級合格： 中村鞠那さん(中3)、渡邊万琴さん(中2)、石井さくらさん(中2)、
瀧沢汐音さん(小5)、
4級合格： 大澤向日葵さん(小5)、山本華鈴さん(小4)、山野陸斗くん(小1)

夏期集中講座・子ども英会話ショートステイ

<http://azaleaenglish.com/kids-shortstay-2015summer/>



西船橋校(8月3日～5日)、JR津田沼校(8月6日～8日)において、開催されました。子ども達はのびのびと大好きな講師とコミュニケーションをとり、海外語学研修のような楽しい時間を過ごしました。レポートと可愛い写真をあぜりあHPにUP致しました。ぜひご覧ください。

20年来の約束を果たすクロアチアへの旅



1987年の『あぜりあ』創設に、忘れてはならない人物がクロアチア人のカローラです。私が誰かスクールを手伝ってくれる外国人がいらないか相談すると、すぐにイギリス人女性を紹介してくれました。そこで、すぐに『あぜりあ』の開校が決まったわけです。

そのカローラが1995年に国に帰るまで、何十回彼女の涙を見たでしょう。頼りの日本人の夫が50歳にもならないうちにすい臓がんで亡くなったのは、私がカローラに会って2年もしない頃でした。続いて、お姉さんの夫や叔父さんが毎年のように亡くなりました。

1991年にはユーゴスラビアの内戦が始まり、悲惨な戦地の情報が、毎日のように届きました。彼女自身も日本から一時クロアチアに帰り、迫撃砲で戦ってきました。彼女の身体には、今もその時受けた傷跡があります。現地で孤児になった子供たちや被災した人のために、カローラと私と友人たちはパーティーを開催し、寄付金を募りました。3,500円でチケットを買っていただき、クロアチア料理とワインを振舞いました。売上は60万円以上になり、その中からカローラは材料費を一切引かず、全額クロアチア大使館を通して、寄付をしました。

そんな悲惨な戦争も1995年には終わり、日本人と結婚した一人娘を日本に残し、カローラはクロアチアに帰国しました。カローラは自分が杖を突いてディスコに行けなくなる前に、早く会いに来てくれと言っていました。その念願が今年20年の時を経て、ようやく叶いました。



一緒に行った友人の井澤さんと私のために、カローラは友人たちを総動員して

車や食事やクルージングの手配をしてくれました。日本人も多く訪れる世界遺産のあるスプリットやドゥブロブニクはもとより、カローラが住んでいる理想的なリゾートのマスカ、その対岸に浮かぶフヴァール島のロマンチックな教会や町並み、プラチ島の澄んだ美しいビーチ、自然が完全に残された川のクルージングを楽しめるオミッシュ、隠れ家的なこじんまりしたリゾート・バスカボダ、すべてが絵になる世界でした。

カローラの76才という年齢と日本から直行便がないという距離を考えると最初で最後のつもりでクロアチアを訪ねましたが、またもう一度訪れたい国になりました。

あぜりあ校長 勝山ひとみ

* クロアチアの英語教育については、別途発表させていただきます。

あぜりあHPワンポイントレッスンを是非ご活用ください 最近「アメリカで良く使われるイディオム」と「驚いた時や感動した時の言い回し」がUPされています。 <http://azaleaenglish.com/onepointlesson/>

● computer nerd: refers to someone who obsessively enveloped into the computer world.

⇒コンピューターオタク: 異常なほどにコンピューターの世界にはまっている人